# テープ監視ツール Ver 1.5

# セットアップガイド

808-895489-A

目次

第1章	はじめに
第2章	機能説明
2.1	メッセージ機能4
2.2	動作環境6
第3章	テープ監視ツールのインストール・アンインストール手順7
3.1	インストール手順7
3.2	アンインストール手順9
第4章	各種設定
第5章	注意 / 制限事項
5.1	運用上の注意点12
5.2	制限事項
付 録	TapeAlert各Flag内容と対象一覧

お願い

・本書に記載されている社名、製品名はそれぞれの会社の商標および登録商標です。

## 第1章 はじめに

### テープ監視ツール Ver1.5のご使用のおすすめ

テープ装置の障害の多くは、ヘッド汚れや不良テープカートリッジ / テープドライブの繰り返し使用 によるものです。

こまめなクリーニングの実施や、定期的なテープカートリッジ交換にて障害発生の未然防止が可能です。

本ツールは自己診断機能 TapeAlert機能 をサポートするテープ装置から通報される情報をもとに、 コンソール上へのポップアップメッセージ、アラートログ・イベントログ出力機能等により、クリーニン グの実施を促したりテープカートリッジ / テープドライブの問題を通知することで、より的確に問題 対処出来るようになることを目的としています。



## 第2章 機能説明

### 2.1 メッセージ機能

#### 1.ポップアップメッセージ

バックアップ / リストアなどにおいてテープ装置で問題が発生した場合(テープカートリッジ / テー プドライブの問題、クリーニング要求、クリーニングテープの使い切りなど)、コンソール上にメッセー ジを表示して処置を通知します。

#### ・メッセージー覧

- 1) テープドライブのクリーニングを実行してください。定期的にクリーニングを行わない場合、テ ープドライブの障害につながる可能性があります。
- テープカートリッジに問題がある可能性があります。
   テープドライブのクリーニングを行っても解消されない場合、テープカートリッジを交換してく ださい。
- 3)テープドライブに問題がある可能性があります。

再実行後も解消されない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

- 4)テープカートリッジもしくはテープドライブに問題がある可能性があります。
- テープカートリッジを交換しても解消されない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
- 5) クリーニングカートリッジを交換してください。
- 6) テープカートリッジは推定寿命に達しました。テープカートリッジを交換してください。
- 7)書込み保護されているテープカートリッジに書込みしようとしています。
- 8) テープカートリッジが切れてしまったため、処理が失敗しました。

古いテープカートリッジを処分し、他のテープカートリッジで処理を実行してください。

9) テープカートリッジがオートローダ内に残っています。 空のマガジンを挿入し、処理を再実行してください。

ポップアップメッセージ例)

i 🛍 Tape A	🔀 TapeAlet/Checker 🔀						
8	テープカートリッジに問題がある可能性があります。 テープドライブのクリーニングを行っても解決されない場合は、テープカートリッジを交換してください。 (TapeAle-UF発生しています。)						
	OK						

## 2.アラートログ・イベントログ

ポップアップメッセージとともにログを記録し、障害履歴情報を得ることができます。 特に障害情報のログが残らないWindows標準Backup (NTBackup)では有効です。

#### アラートログ ロギング内容例)

						X
7efi	æ 📾		407W			
XO	(0)))(	× Tapeàle	rtChecker V	er1.5 (Alert	t Log) <b>xoxxxxxxx</b>	4
2000	)-05-30	<b>CS</b> :04:41	Tape Alert	Flag 13 NSG	G デーアトラクアマテーアカトシダクの知れてしまったため。	
		A8 05 14	÷	F1 44.00	処理が失敗しました"の活動されています。	1
200	)-05-30	09:05:41	Tape Alert	Flag 14 MSC	は、アイアトウイノアリビアーノアナトシックパンサンドししまったときに、 「カイアトライノアリビアーノアナトシング」としまった	1
lance		00.00.41	T 614	CI 16 MOT	99年の「天田(しました」から時代です。 2015年1月4日におけない時代は1月、ブロンスの「アータ」や4日にはかかは世界校長には、主大「	
le un	/ 00 .00	08100141	TONC MICH		が承認されています。	1
2000	)-05-30	03:07:41	Tape Alert	Flag 16 NSG	8、「読書き中にティット」と、。	
[ <sup></sup>					処理が失敗しました。が通報されています。	
2000	)-05-30	09:08:41	Tape Alert	Flag 17 MSG	8 「読取り専用のテ-プカートリョン゙カンテーブドライブにロードされましだカン通報されています	
2000	)-05-30	09:09:41	Tape Alert	Flag 18 MSQ	85 デーアカードッグ上のディルター構造が損傷しています」が過報されています。	i.
200	0-05-30	<b>GE</b> :10:41	Tape Alert	Flage 19 MSG	8 デープナド外がの寿命が尽きようとしています。か通知されています。	
2000	)-U5-30	03:11:42	Ispe Alert	Fisg 20 MSG	お"ア-2"トライで2月-127から異です。 かきねきれています。 の ケット・シンテム かいせいかますが、 おきわさらています	1
200	)-00-30	08:12:42	твре міегт	Fiag 21 Mot	13 デジト 747 リンソーン27 から254日 くり 「かっ四朝をごすらしいます。	i.
L.						-
4						1

#### イベントログ例)

軸	Myk Ese	7 - 779b	-545 0	15 OGTITINH E)								
87	し 東市	W 373	$\partial \mathbf{\Theta}$	4709								
Βf	ন	時刻		¥-2	分類	46*26	-# <b>#</b> -	_3>€°≏∹	9			1
Ø	00/06/9	ワ 午前 8:	12:42	TapeAler10heo		12	N/A	TITAN				
•			1	<ol> <li>G = 16</li> </ol>								
lQ.	00/06/3	0 午前 18:	10:42	Teps Aler 1Chec	:GOL)	13	W/A	TTTAN				
Ψ.	00/06/3	0 午前 18:	DD:41	Tapa Aler 1Cher	r4	19	117.6	TTLE				
<b>Q</b> .	00/06/3	0年前8:	08:41	TapeAkr10hd	<u>- 2016</u>							×
<b>19</b> .	00/06/3	0年前8:	07:41	TapeAkr10hc	日的	00/06/30			ብጥንት 30÷	18		
IΦ.	00/05/0	口午前即	05:41	Tapa Alex10ka	<b>时</b> 保):	午前 211:	42		9-2-	TepsAlariOhac	*=	
<u>19</u> .	00/06/3	0 午前 18:	06:41	Tapa Aler 1Gha	2- <del>4</del> -08	<u>M/8</u>			16 <b>2</b> :	17-		
12	00/06/3	0 午前 8:	04:41	Tapa Aler 1Gha	DEP-200	TITAN			対機に	64.		
$ \Phi $	00/06/3	0年前8:	0941	TapeAler10h4	<b>脱明(<u>1</u>)と</b>							
<u>9</u>	00/06/3	0年前8:	02:41	TapeAler10h4	Fage Stort FI	ar :	20					-
<u>19</u> .	00/08/0	口午前即	01:41	Teps Aler 10he	Махара		77-77-71	אכב-אפרדר	がいた美で	<del>, "</del>		
12	00/06/3	0 午前 8:	00:41	Tapa AlertChe	KL/SHEEPLI	1.02.2.5						
12	COME VS		69:41	Tapa AlertChe								
1 <u>9</u> 2	00/06/9	0408	6841	Tapenier10he								- 1
2	00/06/3	0年前8	6741	Tapa Aler10he	,	-						<u> </u>
<b>S</b> .		비수 비배	68:41	Tapa Alertiche	<u>1 - 2 - 2</u> -	n su	te C	1.949				
12		비 午前 8:	66:41	Tapa Aler (Che								
182	ourous a	이 속 해 봐	54-41	T-spe Aler1Ch4								
IX.	000003	이 약~ 이 방:	03:41	Тараниятова								-1
1X.	00/06/3	이 누 해 봐.	D2341 1.94.293									
12	0000000	이 눈 태 신	1.90.00									_
12	0000000		1.00.00	Transformed		20	<b>11</b> 24	CONCOL	201	117 <b>160</b>	417769	
12.	00/06/2		1:58:53	a spenierione								-

### 2.2 動作環境

テープ監視ツールのセットアップに必要な環境は次のとおりです。

- ・ハードウエア
- 本体 : Express5800/100シリーズ Express5800/50 シリーズ
  - Express5800/600シリーズ
- メモリ使用容量 : 500KB以内
- ディスク使用容量 : 2.2MB以内

#### ・ソフトウエア

- OS : WindowsNT4.0 (SP5以降) Server/Workstation、Windows2000
- SW : ARCserve J6.0 for WindowsNT (SP3) (全Edition) ARCserve J6.5 for WindowsNT ARCservelT J6.61 for WindowsNT ARCserve2000(SP2) BackupExec for WindowsNT Ver.7.3 BackupExec for WindowsNT Ver.8.5 Windows標準Backup (NTBackup)

(全Edition) \*Patch07が必要です。

(全Edition)

上記以外のSW Versionでご使用されますと、正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。

・対象ドライブ

内蔵 / 外付AIT	N8551-19,N8551-28,N8151-28,N8551-34,
	N8151-34,N8151-41,N8151-44/N8560-16
内蔵 / 外付AIT集合型	N8551-20,N8551-29,N8151-29,N8551-36,
	N8151-36 / N8560-17
内蔵 / 外付DAT(DDS3)	N8551-12,12A,12BC / N8151-12BC /
	N8560-12,12AC
内蔵 / 外付DAT集合型(DDS3)	N8551-13,13AC / N8151-13AC / N8560-13,13AC
内蔵TRAVAN	N8551-21
外付TRAVAN集合型	N8560-19
内蔵 / 外付DAT(DDS4)	N8551-26,N8151-26,N8151-43 / N8560-22
内蔵 / 外付DAT集合型(DDS4)	N8551-27,N8151-27 / N8560-23
内蔵SDLT	N8151-38
内蔵LTO	N8151-37,N8151-40
外付LTO	N8160-39

対象ドライブとバックアップソフトの対応につきましては

NECのWeb情報ページにあるExpress58番街(http://www.express.nec.co.jp/index.asp)の 「技術サポート」 - 「技術情報 (Express5800)」 - 「テクニカルガイト」 -「Express5800/100シリーズテクニカルガイド」にありますバックアップ装置 < バックア ップ装置対応ソフトウェア WindowsNT/2000 > を確認してくだい。

# 第3章 テープ監視ツールのインストール・ アンインストール手順

本製品のインストール/アンインストールについては下記を参照に行ってください。 インストール完了後、システムの再起動が必要となります。

### 3.1 インストール手順

 装置添付のフロッピーディスクをFDドライブにセットします。
 Explorerから3.5インチFDを選択、「<u>TpTool</u>」のフォルダからインストールモジュール Setup.exeを実行してください。

■ ±2270-7 - 35 (>≠ PD (A)					
おお田 義務部 美市部 メルロ へいがい					
from the set of the local section of the local sect	a balaction balaction to	all to little			
		ALC: NO.			
La contra	Department of the second second second	1.1		Law and the second s	1000
The second second	- 1944	214	102.00	COLUMN TWO IS AN	ALC: N
10-10-11-10-1-2		0106.0	46. 19.94	500110118 -+ eq 8048	
ENCERTAINED COLOR	C cool and	100.80	12332-042	50/08/27 4 Bt BV02	- 21
1 1 1 1 1 1	E search	125.0	A1100309 3415-	COMPANY THE PARA	- 21
1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	ALL 1991 ALL	2806.94	CHD 79478	00/00/15 1948 8455	
1 2 2 2 2	a year to a	COL	main 2778	DOVODUTE PPER DATE	
Line Titles site	Di Ortani	08.0	8408210100	00/06/01 leith soon	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	a Data hay	100	the Parks	100/00/16 中接 04.26	- A
D. Ha 2:40-4 2:45-5	et al a la	25.85	cab 254%	00/00/18 年間 時代8	- A
Light the	E WARM	58.B1	dig 7FU-	S0/05/01 HEB 87:01	- A .
D. H. remark	<ul> <li>Inymittels</li> </ul>	1600	Inter Day (B)	00/00/16 TFER 84.06	- A
Laffa wita that	Montage ini	178.81	<b>建筑国际内的</b>	00/05/01 http:// 8944	- A
	all results?	1830	nini Zerlá-	10.000.000 中創 10.00	- A
1	T Readmentst	98.BL	十年以本 相關公共中	00/06/01 TFIB 84/64	- A
1	Carl Date and an	NUMERIC DE	70780-0404	souther in the states	- A
1	In Set-g.ivi	16.8	20302000	00/00/18 TELE 84/28	
1	Conception in the second secon	500 E	201.72406	00/08/29 1+28 8527	- A
	al artistici	18.00	14 2 millio	DOUGS/THE THER BACK	A
1	TopoAtortOtecher PE PO_	11.21	TRL 7FUL	00/00/98 10 10 12:08	A
1	all To All Children	168	oluti Zariki	DOLAR WE WE TOTAL	
1	Town Officers	NON D	7295-512	00/04/18 12 60 12:08	- 4
1					
Energy Control of Cont					

2) インストーラーの指示に従いインストールを行ってください。



√37k-L#23457 C:VProgram FilesVTapsAlortChecker ▲#MCE>
< #600 [JX2336223] 3006

3) "インストール完了しました "のメッセージ後、READMEを参照願います。 システムの再起動が必要となります。



システムの再起動後、インストールディレクトリ配下に以下のファイルが存在することを確認してください。

TpAletChk.exe	(本製品の実態。実行形式ファイル)
TpAltMsg.exe	(メッセージポップアップ実行形式ファイル)

- ・Ctrl.ini (制御情報に関するイニシャライズファイル)
- ・Meesage.ini (検索対象にするTapeAlert情報ファイル)
  - (TapeAlert検出に関する諸データファイル)
- ・TapeAlertCheckerREPRT.TBL (ESMPRO Alert通報に関するテーブルファイル)
- Readme.txt

TpAltChk.dat

Uninst.isu

(アンインストール情報ファイル)

- 5) [コントロールパネル]-[サービス]を起動し以下の状態でサービス登録されていることを確認 してください。
- ・サービス名

- =TapeAlertChecker
- ・スタートアップの種類
- ・ログオン

- =自動
- =システムアカウント
  - デスクトップとの対話をサービスに許可

サービス(≦)	4天10月	スタートアップ	650163
Plue and Play	間開始合	自 60 🛌	
Protected Storage	的财政会	白 動力	1211-03 <u>0</u> 2
Remote Procedure Call (RPC) Service	用用热合	白動	停止口
Schedule		手動	040.000 1.000
Spooler	開始在	白動	-serietre (E)
Tape AlertChecker	EEM &	曲 65	6227400
-E'Z		×	76-17-7*(8)
₩−± <sup>1</sup> 2: TapeAlertChecker			
- スタートアップでの通知費			ハートウェア フロファイル (人)
(〒)街街(茶))		OK	0.01-0010405
(T) JEAN (NO)		467724	
C GEAL/DO			
- mean dea		~#?"B	
- n/2/3h/3a			
(学) システム アカウント(法)			
▶ デスクトップとの次相議務サービスに当時	πœ		
C 7592FCD:		14	
novin-Loops			
2020-100-2			
パタリ ドの時間及内心の			
			1

\* インストール作業が完了しました。 自動的にツールを送り出し、クリーニング等の監視を行います。

## 3.2 **アンインストール手順**

1) [コントロールパネル]-[サービス]を起動し本製品の動作を停止してください。 ・サービス名 = TapeAlertChecker



-Ľx			x
ታ-ተ'ኋላ2	状態	x9~}7y7*	81.5
Server	開始	自動 📥	
Spooler	開始	自動	「開始(空)
Tape Aler(Checker	開始	自動	停止①
C  サービス 10トロール  Ta			× 一時停止(P)
UF 🌍 D ୯ TapeAlertChecker : ଭ	サービスを停止し	しています	特征公
World Wide Web Publishing Service	開始	自動 📼	スタートアップ(日).
ah 17.01 AKA 6/AL			ለተትማቱፖ ንግንምብሥላሏል
Kalin da ju avlav <del>u</del> k			(4,7% <u>H</u> )

+			×
#-t'x@	状態	75-h7v7°	(*************************************
Server	開始	自動 🔺	
Spooler	開始	自動 🔛	開始(図)
Tape AlertChecker		自動	(高佳(1)
TCP/IP NetBIOS Helper	開始	自動 🛞	
Telephony Service		千勤 🔯	<ul> <li>19(9)E(2)</li> </ul>
UPS		手動 🔄	特許での
Workstation	開始	自動	
World Wide Web Publishing Service	南始	自動 🖃	スタートアップ (日).
			$h \! = \! h \! \mathcal{D}_{\mathbf{X}} \mathcal{T}  \mathcal{D}  \mathcal{D}_{\mathbf{T}} \mathcal{H}  \mathcal{U}  \mathcal{U}  \mathcal{U}  .$
79-1/79/7° A'7%-91 <u>A</u> X			າມວາດຄ

- 2) [コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]を起動してください。
- インストールアプリケーション一覧の中から "TapeAlertChecker "を選択し[追加と削除]を実行してください。

779ケールンの追加と削除のプロパティ ? ×
インストールと前内録   Windows NT セットアップ*
20.だー デヤ22または CD-ROM から新し、サ29/クーネンを インストールするにはよ、トレストール1を知らりしてください。
(ごの) 次のソフトウェアは自動的に削除できます。アフリウーションを削除したし、その構成にアイルを変更するには、一覧から進んでも自加 と削除1を別ソウルてくたさ、VD
Microsoft Internet Information Server
VERUTAS Beckup Exec
Whith We AT 40 Service Factor 0 공급 구구 2-2
294 0-0 0982 200122
(TapeAlertChackerとそのすべてのロンボーキントを削除しますか?
COURSE CRIER
OK ++ンセル 適用公
4) アンインストールが実行されます。
2015年前の73796時期 uninstalEtiokd 17 、つけっ-5時の後 アログラム
TasaAkrtOhocka*を削除します。 次の広びボーキントが削除される間。しばらくお待ち ください。 ・ 共有アログラム ファイム ・ 標準アログラム ファイム ・ フォルグー項目 ・ アログラム フォィムのテー
<ul> <li>70754 71099</li> </ul>
ビーブログラム登録16日

- アログラム 34.4アール。
   アログラム 54.0PU...
   アログラム 25.4 PU.DPL...
   アログラム 25.4 PU.DPL...
   アログラム 25.4 PU.DPL...
   アンバストール ウィンクトール ウィンクトール ウィンクト
- 5) アンインストール完了後、インストールディレクトリ内にログファイルが残っている可能性があ りますので、手動で削除し、必要に応じてインストールディレクトリも削除してください。 ログファイルは名前、格納場所を任意に設定できることからアンインストール時に削除対象フ ァイルとして扱いません。
- 6) [コントロールパネル]-[サービス]を起動し本製品が削除されていることを確認してください。
- ・サービス名 = TapeAlertChecker 削除されていない場合、システム再起動後に再度ご確認ください。 アンインストール完了です。

## 第4章 各種設定

本製品は以下の状態でサービスとして動作します。

- 他サービスとの依存関係はありません。
- 監視間隔(待ち)時間はスリープするため、CPUタイムは必要としません。
- ポップアップメッセージ以外、操作画面などのダイアログ画面は一切持ちません。 各種設定はiniファイルの内容を書換えることで行います。 iniファイルで設定(変更)できるものは下記のとおりです。

・監視時間の設定(変更)

:既定值 60分

(最小0001分~最大1440分)

iniファイルの内容例)

;監視間隔時間 (単位:分)パラメータ : IntervalTim		
;	-既定值	: 0060
;	-設定範囲	: 0001 ~ 1440
IntervalTime =	0060	

- ・ローカルログパスの設定(変更) :既定値 本製品と同一位置 通報内容をロギングするログのパスと本製品のエラーをロギングする ログのパスをそれぞれ設定変更行えます。
- ・ローカルログサイズの設定(変更) :既定值 1MB KB単位での設定変更を行えます。 (最小0010KB~最大5120KB) ローカルログが設定値を越えた場合、保存範囲以前のログを削除します。 ・ローカルログ保存範囲の設定(変更) :既定値 1000行 行単位での設定変更を行えます。 (最小00100行~最大99999行) ローカルログが最大サイズを越えた場合、保存範囲行以前のログを削除します。 削除しても最大サイズ以上になった場合は、100行ずつ再度削除し、最大サイズ 以下になるまで繰り返します。
- ・ポップアップメッセージON / OFFの設定(変更) : 既定値 ON すべてのポップアップメッセージ出力のON/OFF設定が可能です。

## 第5章 注意/制限事項

### 5.1 運用上の注意点

- Ctrl.ini、Message.ini、TpAltChk.dat、TpAltMsg.exeおよびTapeAlertCheckerREPRT.TBL は動作上、必ず本体モジュールTpChkAlt.exeと同一ディレクトリに存在しなければなりません。存在しない場合、本製品は正常動作できなくなるため、自動的に停止します。
- 本製品で扱えるTapeDevcie数は最大50台までです。
   50台を超えた環境の場合、50台までの情報を採取します。
- ポップアップメッセージに無応答状態でを続けますと、TapeAlertの発生状況によりポップア ップメッセージが複数枚出力されます。この場合、システムリソースの浪費につながりますの で、Ctrl.ini内の "PopUpMsgSW "をOFFにして運用頂くか適度にポップアップに[OK]を押下 して頂ける様お願いいたします。

ポップアップメッセージに対応出来ない場合(例コンソールレスシステム等) Ctrl.ini内<u>"PopUpMsgSW "を</u>OFFにして運用して下さい。 この場合<u>ログの出力機能</u>のみ働きます。

#### 5.2 制限事項

- 1) BackupExecで運用されている場合、TapeAlert情報 Flag:13 とFlag:14はBackupExecログ内 に出力される情報が同一のため、本製品では両者を同一視しFlag:13と判断します。
- 2) BackupExecログがBackupExecで更新中もしくは、他のPPでOpenしてい場合本製品は該 当ログを開くことができないため、更新が終了した後の検索処理で処理対象とします。
- ARCserveで運用されている場合、以下のTapeAlert Flagに対応するErrorCodeが ARCserveに無いために本製品では情報を引き取ることができません。
   引き取れないFlag No = 10,11,12,24,25,26,27,28
- Windows標準Backup UTLをご使用の場合、本製品がTapeDeviceのAlert情報を引き取る タイミングとWindows標準Backup UTL起動タイミングが重なった場合、Windows標準 Backup UTLにて "ハードウェアの初期化に失敗しました "の旨のMSGが出力される場合が あります。

この場合、Windows標準Backup UTLを再起動いただくか、頻発するような場合には本製品の" 監視間隔時間"の設定をより長く設定してください。

```
:取得したAlert情報を記録するログファイルの設定
:ログのパス
                     パラメータ
                                : AlertLogPath
                     -既定値
                                : InstallPath
                     -設定範囲
                               :仟意
:ログの最大サイズ(単位:KB)
                     パラメータ
                               : AlertLogMaxSize
                     -既定値
                               : 1024
                     -設定範囲
                               : 0010 ~ 5120
                     パラメータ
;ログ保存行(単位:行)
                               : AlertLogKeep
                     -既定値
                                : 1000
                     -設定範囲
                               : 00100 ~ 99999
AlertLogPath = InstallPath
AlertLogMaxSize = 1024
AlertLogKeep = 1000
;TapeAlertCheckerのローカルログファイルの設定
:ログのパス
                     パラメータ
                                : LocalLogPath
                     -既定値
                               : InstallPath
                     -設定範囲
                               :仟意
;ログの最大サイズ(単位:KB) パラメータ
                               : LocalLogMaxSize
                     -既定值
                               : 1024
                     -設定範囲
                               : 0010 ~ 5120
                     パラメータ
:ログ保存行(単位:行)
                               : LocalLogKeep
                     -既定値
                               : 1000
                     -設定範囲 : 00100~99999
LocalLogPath = InstallPath
LocalLogMaxSize = 1024
LocalLogKeep = 1000
:ポップアップメッセージ出力のON/OFF
:全メッセージのON/OFF
                     パラメータ
                                : PopUpMsgSW
                     -既定値
                                : ON
                     -設定範囲
                                : ON/OFF
PopUpMsgSW = ON
```

本プログラムに関する問い合わせ

Backup@ed3.was.fc.nec.co.jp

# 付録 TapeAlert各Flag内容と対処一覧

Flg No.	Flg Message	Flg内容と対処
1	Read Warning	テ - プドライブは読み取り時に問題があります。 データは失われませんが テープカ ートリッジのパフオーマンスが悪くなります。 テープドライブのクリーニングを行って ください。 実行後も解消されない場合はテープカートリッジを交換してください。
2	Write Warning	テ - プドライブはデータ書き込み時に問題があります。 データは失われませんが テ ープカートリッジの容量が少なくなります。 テープドライブのクリーニングを行ってく ださい。 実行後も解消されない場合はテープカートリッジを交換してください。
3	Hard Error	データの読み取り/書き込み時にテープドライブが補正できないエラーが発生した ため、処置は中止されました。テープドライブのクリーニングを行ってください。 実行後も解消されない場合はテープカートリッジを交換してください。
4	Media	テープカートリッジ上のデータは、不安定な状態です。 必要なデータをコピーしてから、このテープカートリッジを処分し 他のテープカートリ ッジを使って、処理を実行してください。
5	Read Failure	テーブカートリッジに損傷があるか、テーブドライブに障害があります。 テープカートリッジを交換しても解消されない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。
6	Write Failure	テーブカートリッジが不良か、テーブドライブに障害があります。 テープカートリッジを交換しても解消されない場合は、保守サービス会社に連絡して ください。
7	Media Life	テ - プカートリッジは推定寿命に達しました。 必要なデータを他のテープカートリッ ジにコピーし、古いテープカートリッジを処分してください。
8	Not Data Grade	テ - プドライブ はデータを正しく保存できる状態ではありません。 このテープカートリッジにバックアップ済みのデータは不安定な状態です。 テープドライブのクリーニングを行ってください。
9	Write Protect	書き込み保護されているテーブカートリッジに書き込もうとしています。 書き込み保護を外すか、他のテープカートリッジを使用してください。
10	Not Removal	テープドライブが使用中のため、テープカートリッジをイジェクトできません。 処理が完了するまでお待ちください。
11	Cleaning Media	テープドライブ内のテープカートリッジは、クリーニングカートリッジです。 バックアップ / リストアを実行するには、データ用テープカートリッジを使用してくだ さい。
12	Unsupported Format	このテープドライブがサポートしていない種類のテープカートリッジをロードしようと しました。 テープカートリッジを交換してください。
13	Recoverable Snapped Tape	テープドライブ内でテープカートリッジが切れてしまったため、処理が失敗しました。 古いテープカートリッジを処分し、他のテープカートリッジで処理を実行してくだい。
14	Unrecoverable Snapped Tape	テープドライブ内でテープカートリッジが切れてしまったため、処理が失敗しました。 テープカートリッジをそのままにして、保守サービス会社に連絡してください。
15	Memory Chip in Cartrige Failure	テープカートリッジメモリが破損しているので、テープカートリッジの性能が減少しま す。 今後、このテープカートリッジをバックアップに使用しないでください。

Flg No.	Flg Message	Flg内容と対処	
16	Force Eject	読書き中にテープカートリッジが手動でイジェクトされたため、処理が失敗しました。	
17	Read Only Format	読取り専用のテープカートリッジがテープドライブにロードされました。 このテープカートリッジは書込み禁止として表示されます。	
18	TapeDirectory Corrupted on Load	テーブカートリッジ上のディレクトリー構造が損傷しています。 ファイル検索の該当率が減少する可能性があります。 テープドライブのクリーニングを行ってください。 実行後も解消されない場合はテープカートリッジを交換してください。	
19	Nearing Media Life	テーブカートリッジの寿命が尽きようとしています。 次回のバックアップには別のテープカートリッジを使用してください。 このテープカートリッジからデータをリストアするときのためにテープカートリッジを安 全な場所に保管してください。	
20	Clean Now	テープドライブのクリーニングが必要です。処理が中止された場合、テープカートリ ッジをイジェクトしテープドライブのクリーニングを行ってください。処理が中止され ていない場合、終了するまで待ち、テープドライブのクリーニングを行ってください。	
21	Clean Periodic	テープドライブのクリーニングが必要です。 現在の処理が終了するまで待ち、クリーニングカートリッジを使用してください。	
22	Expired Cleaning Media	テープドライブ内で最後に使われたクリーニングカートリッジは、使い古されて、これ 以上使用できません。 使い古されたクリーニングカートリッジを処分し、現在の処理が終了するまで待ち、 新しいクリーニングカートリッジを使用してください。	
23	Invalid Cleaning Tape	テープドライブ内で最後に使われたクリーニングカートリッジのタイプが不正です。 このクリーニングカートリッジを使用しないでください。 現在の処理が終了するまで待ち、クリーニングカートリッジを正しいタイプのものと 交換してください。	
30	HardwareA	テープドライブは故障です。 テープカートリッジ / マガジンをとり出して、 テープドラ イブの電源をOff/On して、 処理を再実行してください。	
31	HardwareB	テープドライブは故障です。テープドライブの電源をOff/Onして、処理を再実行して ください。問題が残るようであれば、保守サービス会社に連絡してください。	
32	Interface	テープドライブのホストインターフェイスに問題があります。ケーブルおよびケーブ ル接続を確認し、処理を再実行してください。再実行後も解消されない場合は、保 守サービス会社に連絡してください。	
33	Eject Media	処理に失敗しました。テーブカートリッジまたはマガジンをイジェクトしてから、再び 挿入し、処理を再実行してください。再実行後も解消されない場合は、保守サービ ス会社に連絡してください。	
34	Download Fail	このテープドライブには正しくないファームウエアを使用したため、ファームウエアの ダウンロードに失敗しました。 正しいファームウエアを入手し、処理を再実行してく ださい。	
35	Drive Humidity	テープドライブ内の湿度が動作環境の指定範囲を超えています。 指定範囲内で動作させてください。	
36	Drive Temperature	テープドライブ内の気温が動作環境の指定範囲を超えています。 指定範囲内で動作させてください。	
37	Drive Voltage	テープドライブの電源電圧が動作環境の指定範囲を超えています。 指定範囲内で動作させてください。	

Flg No.	Flg Message	Flg内容と対処
38	Predictive Failure	テープドライブの故障が予想されます。保守サービス会社に連絡してください。
39	Diagnostics Required	テーブドライブに障害があるようです。原因を特定するには、診断ツールを使って厳 密な診断テストを行ってください。厳密な診断テストの方法については、テープドラ イブの取扱説明書を参照してください。
40	Loader Hardware A	ライブラリーメカニズムとテーブドライブの間に通信の支障が発生しています。 ライブラリーの電源を入れなおして操作を再試行してください。 再実行後も解消されない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
41	Loader Stray Tape	以前のハードウエアエラーにより、テーブカートリッジがオートローダー内に残ってい ます。 空のマガジンを挿入し、オートローダーの電源を切ってから、また入れ直してく ださい。
42	Loader Hardware B	オートローダに問題があります。再実行後も解消されない場合は、保守サ-ビス会社 に連絡してください。
43	Loader Door	オートローダのドアが開いているため、処理に失敗しました。障害物があれば、それ を取り除き、マガジンをイジェクトしてから、挿入し直してください。再実行後も解消 されない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
44	Loader Hardware C	オートローダの障害が確認されました。オートローダの電源を切って、入れなおし 操作を再試行してください。再実行後も解消されない場合は、保守サービス会社に連 絡してください。
45	Loader Magazine	オートローダの正常な動作にマガジンが必要です。 マガジンをオートローダに挿入 してください。 操作を再試行してください。
46	Loader Predictive Failure	チェンジャーメカニズムの故障が予想されます。再実行後も解消されない場合は、 保守サービ え会社に連絡してください。

\*RCserveではTapeAlertFlag No = 10,11,12,24,25,26,27,29に対応するErrorCodeが無い為、 情報を引き取ることができません。

NEC Express5800シリーズ
テープ監視ツールVer1.5 セットアップガイド
2000年 6月 初版 2000年 12月 第2版 2001年 5月 第3版 2001年 12月 第4版
日本電気株式会社
〒108-01 東京都港区芝五丁目7番1号 TEL (03) 3454-1111(大代表)

© NEC Corporation 2000 All rights reserved

日本電気株式会社に許可なく複製・改変などを行うことはできません。 本書の内容は予告なく変更することがあります。

